

平成29年11月27日

報道関係者各位

山口市

山口市立桜尾小学校

地域住民に学校図書館を開放する取り組みを開始

**公立小中学校として全国初導入の
図書館開設 Web サービス「リブライズ」を活用**

山口市（市長 林宏優 以下当市）は市立小中学校図書館蔵書の貸出管理システムとして、昨年度より図書館開設 Web サービス「リブライズ」を公立小中学校として全国で初めて採用し、学校図書館蔵書のデータベース化、ネットワーク化を進めています。このたび、市立小中学校の中で先行してリブライズの本格利用を開始している山口市立桜尾小学校（学校長 山下敦子 以下桜尾小学校）において、リブライズの機能を活用し、学校の教育活動に関わっている地域住民に図書館を開放する取り組みを12月1日に開始します。

リブライズの特長のひとつとして、クラウド型サービスの採用による低い初期費用や、国立国会図書館などのオープンデータを利用した本の概要や表紙画像の分かりやすい表示機能などがあります。

こうしたシステムの柔軟性や親しみやすさといった特長を生かし、桜尾小学校では本年度より保護者に対する学校図書の開放も行っており、今回新たに学校での教育活動に関わっていただいている地域住民にも蔵書の貸出を始めることで、将来的に学校図書館を基点に地域の交流が生まれる場の創出を目指し、学校図書館の地域における利活用を進めていきたいと考えています。

また、本年度からは全市立小中学校12校と教育センターでリブライズを利用できる環境を整備中で、さらにリブライズ開発元であるリブライズ合同会社の協力を得ながら、市立学校間での蔵書検索を容易にするためのグループ化や、学校図書館で利用する蔵書管理機能、貸出管理機能の充実も図っております。

今後、桜尾小学校における取り組みをモデルに市全体での実施を検討し、地域と密接に関わった読書活動を推進してまいります。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山口市教育委員会 学校教育課 平野

Tel : 0581-22-6844 Fax : 0581-22-6851

Mail : k-gako@city.gifu-yamagata.lg.jp

《参考資料》

1. リブライズについて

リブライズ合同会社が運営する図書館開設 Web サービス。

「すべての本棚を図書館に」をテーマに掲げ、まちライブラリーを始め、コワーキングスペース、オフィス、大学、カフェ、海外の日本人コミュニティなど、セミパブリックな蔵書を貸し借りする関係をつなげ、誰でも簡単に、本によるコミュニティを形成するツールを提供しています。

2012年9月に Facebook アプリアワード（主催 株式会社サイバード）コンテストの部でグランプリを獲得、2013年10月には2013年度グッドデザイン賞を受賞しました。

Web サイト <https://librize.com/ja>

開発・運営会社 リブライズ合同会社 代表社員 地蔵真作、河村奨



リブライズの山県市立小中学校グループページ

2. 山県市における読書活動の取り組み

◆読書指導員の配置

当市は、児童生徒の読書活動を推進するために全小中学校に学校司書業務を行う読書指導員を配置し、図書館環境整備と児童生徒の読書活動の推進に取り組んでいます。

◆読書教育の推進

梅原小学校が平成28年度岐阜地区学校図書館教育で最優秀賞を受賞するなど、各校で特色ある読書活動を推進しています。

(広報やまがた平成29年5月号より抜粋)